クリニカルパスウェイ
EVL・EISを受ける患者さんへ

平成28年4月作成
東京慈恵会医科大学西部医療センター

患者番号　@PATIENTID　　**患者氏名**　@PATIENTNAME

	外来・入院前	入院日～治療前日	治療当日	治療後1日	治療後2日～退院まで	次回外来までの 退院後の生活
日時	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日～　月　日	月　日
目標	□治療を理解し、準備ができる	□治療の準備を整えることができる	□安全に治療ができ、合併症を予防できる	□安静を保ち、合併症を予防できる	□出血の予防をおこなえ、安静を保てる	□生活の注意点が分かり、療養できる
食事		□状態に応じた食事となります □前日夜9時より飲食禁止となります	□飲食禁止となります 	□飲食禁止です（状態・治療内容に応じ変更になることがあります）	□状態に応じ治療後1～2日目より流動食が開始し、3分粥、5分粥と2日かけて変わっていきます	□香辛料が入っている辛いもの、アルコール、硬い食べ物は避け、よく噛んで食事をしましょう □減塩を心がけましょう
活動	□風邪をひかないように、怪我をしないように注意してください	□特に制限はありません	□治療後はなるべく安静を保ち、出血を予防します	□血流を安定させるため、なるべく安静にしてください	□積極的な運動は血圧の変化が大きく、創部や肝臓に負担がかかるため、なるべく安静を保ってください	□激しい運動は治療部に負担がかかるため避けましょう
検査 処置	□外来でCT・エコー・MRI・採血など諸検査をおこないます	□状態に応じ、採血・CTなどの検査がある場合があります		□状態に応じ採血、レントゲンなど行います	□状態に応じ採血やレントゲンを行います	□数か月後に胃カメラにて創部の確認を行います □外来にて採血などをおこないます
薬	□治療に対し休薬が必要な薬剤は、医師より説明があります ・薬剤 （　　） ・日時 （　　月　　日より）	□薬剤師が監査を行いますので提出してください □中止薬の確認をおこないます 	□内服を行う薬剤がある場合は、看護師より説明があります □内服がある場合は、内服時のみ少量の飲水は可能です □数日間輸液・止血剤の点滴があります	□食道の粘膜保護剤や止血剤の内服薬を状態に応じ開始します	□状態に応じ持参薬を再開します □胃薬の点滴から飲み薬に変更することがあります	□中止薬の再開があります、看護師・薬剤師から薬について説明があります □内服は継続し、飲み忘れがないように注意してください
清潔					□発熱などがなく、状態がよければシャワー浴可能です 	□熱いお風呂など血圧が急激に変わるようなことは避けてください
指導 説明	□医師より治療の説明、同意書が渡されます □グリーンカウンターにて看護師より入院の説明や患者さんについてのお話があります 	□看護師より再度治療についてや治療の流れについて説明があります	□入室は歩いて、帰室はストレッチャーにて行います □痛み時など適宜点滴がありますので、看護師へ伝えてください	□身体の抵抗力が弱まりますので手洗い、マスクを心がけてください □便が黒く、べたべたした様になった場合は看護師へ伝えてください	□便が黒く、べたべたした様になった場合は看護師へ伝えてください □EVL・EISは状態に応じ2～3回繰り返しおこないます、状態に応じ決定し患者さんへ伝えます	□喉、胸の違和感が続くことがあります □退院後黒い便が出たときは、すぐに連絡してください □入院中、外来、いつでも質問にお答えします 少しでも質問や疑問がある場合はご相談ください